

資料 2

新型コロナウイルス感染症予防対策のための定期運動コース予約受付の導入について

○船山陽子、渡辺春香、渡部千郷、宗像ゆかり、三浦利恵子、桜沢美土里、多治見公高
公益財団法人 郡山市健康振興財団

【目的】

当財団は、市民を対象に健康増進や疾病予防・重症化予防等の総合的な健康づくり推進を目的とした施設である。事業のひとつとして、年間を通し継続的に運動指導を行う運動コースが6種類ある。新型コロナウイルス感染症流行前は、利用人数制限がなかったため、予約不要でいつでも参加が可能であった。しかし、感染症予防対策のために利用人数制限が必要となり、コストをかけずに電話予約受付を新たに開始したので報告をする。

【対象】

50～90歳代の定期運動コース参加者、約300名

【方法】

コロナ禍における運動コース継続のために、下記の方法を行った。

- 1) 電話予約制、各コースに定員、一人あたりの1ヶ月毎の予約回数制限を導入した。
- 2) 公平性を保つため、毎月予約受付開始日を設定した。
- 3) Excelの共有機能を活用し、予約用の名簿(以後、名簿とする)を作成した。
- 4) 運動予約専用のスマートフォンを利用し、電話受付をした。
- 5) LINEを活用し、情報提供を行った。

【結果】

方法の中でも特にExcelの共有機能を活用した名簿の導入は、6種類の運動コースを複数名で同時受付することを可能とした。このことは、数名の職員が約300名の個人ID検索、数種類の運動種目を検索でき、一つの共有名簿で同時予約することを可能とした。

また、通常の固定電話回線とは別にスマートフォンで電話受付したことは、他業務に支障なく予約がどの職員でも簡単に行えるようになった。

【まとめ】

電話予約が簡単に行えるようになったが、毎日職員が当番制にて電話受付を行い続けている。電話予約について、実際には「毎回面倒だ、電話を忘れてしまう」等の参加者の声がある。一方、「せっかく予約できたから参加しなくては」という前向きな声も聞かれ、様々な声に耳を傾けながら見直しを重ねていきたい。

また、携帯電話やスマートフォンを持たない高齢者へも配慮しながら、今後SNS予約の活用等、様々な方法を検討し利用者に寄り添ったものにしていきたい。